

事務事業評価シート

(H.30)No.	1160	(H.29)No.	1160
-----------	------	-----------	------

事務事業名	生涯学習推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	宮前 浩幸	

会計区分	事業コード	500503
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	社会教育総務費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 社会教育総務費	生涯学習推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進
	施策	1	生涯学習
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
名張市に愛着を持つ人材の育成や家庭教育の充実など、地域課題等について学習機会を提供することにより、市民センター活動や地域組織活動の充実に繋がります。
事業内容
市民センター等を地域の拠点に、生涯学習活動を全市的な規模で推進します。 また、関係機関と連携を図りながら家庭教育の充実を推進します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	市民、団体に対して生涯学習に関する情報提供等を行いました。生涯学習に関する講座なばりカレッジは、受講生50人に、全8回開催し、21人が修了しました。	市民、団体に対して生涯学習に関する情報提供等を行います。生涯学習に関する講演会等を実施。	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			市民、団体に対して生涯学習に関する情報提供等を行います。生涯学習に関する講演会等を実施。	市民、団体に対して生涯学習に関する情報提供等を行います。生涯学習に関する講演会等を実施。	市民、団体に対して生涯学習に関する情報提供等を行います。生涯学習に関する講演会等を実施。

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		0千円		200千円	200千円	200千円	200千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他(助成金)			200			
	一般財源	0	0	0	0	200	200
人工数	職員	0.40人		0.40人	0.40人	0.40人	0.40人
	臨時職員等						
②概算人件費	0千円	2,960千円	0千円	2,960千円	2,960千円	2,960千円	2,960千円
①+②総事業費	0千円	2,960千円	0千円	3,160千円	3,160千円	3,160千円	3,160千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
名張の文化や歴史、自然また産業から「なばり」を学び「なばり」を再発見する学習の機会を提供しました。平成29年度のなばりカレッジは、119人の応募があり、抽選をして定員である50人にさせていただきました、21人が修了しました。受講生にはボランティアとして、講座運営に協力いただきました。また関係機関と連携し、市民センター主催講座で家庭教育の実施もしました。市民一人ひとりが自らの資質向上や社会の一員として様々な活動に参画するための学習機会を提供し、学習成果を地域に還元できるような人材育成を図りました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
なばりカレッジ(生涯学習講座)で現地学習を取り入れ、伝統文化・文化財にも注目し、市民団体とも連携した講座を実施し、生涯学習活動を推進します。しかしながら、県の助成事業として継続して実施しており、財源の確保が難しい状況です。また、関係機関と連携を図りながら家庭教育の学習機会を提供します。学んだことを地域に発信できる人材育成を進めていきます。また、共催事業の実施や助成事業を活用し、より多くの学習機会を提供していきます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
名張市の地域における生涯学習推進に関する指針(地域生涯学習推進指針)